

様式③-1

平成28年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		道路改築事業	(主)桑名大安線	
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	170080	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)	市町字名	
	10	桑名・員弁 郡部 一般	東員町 中上	
④事務事業名	道路改築事業			
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成			
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上			

2 事業の概要

事業の概要				
延長	L=680m	事業採択	2007年度	
幅員	W=6.0(9.75)	事業着工	2007年度	
道路工	L=680m	事業完了	2016年度	
橋梁工	3橋	供用開始	2017年度	
		全体計画事業費(億円)	23.350	
		全体計画工期(年数)	10年	
事業の目的				
当区間は、県道四日市東員線との交差点であり、その交差形状はクランク状となっているため交通渋滞が激しく、また右折車線がないため交差点内で車両錯綜が頻繁に生じ、また歩道がないため歩行者及び自転車利用者にとっては危険と隣り合わせの状態となっていることから、念仏小橋、念仏大橋の交差点改良、バイパス整備を行いたい。				

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成27年度	前回評価		
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項		
事業進捗率	2014年度までの事業進捗率 77.1%	2015年度完了までの事業進捗率	88.6%	実施済み総事業費 (億円) 19.8
事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]				
橋梁工	2橋	用地補償	1式	舗装工 L=200m
護岸工	1式	道路工	L=200m	

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	必要である
	○ 必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定 (該当する項目にチェックする)	
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定 (該当する項目にチェックする)	
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)

5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	